

50歳からを元気にする

エステサロンの経営や化粧品品の企画販売など美容関連事業を手掛けるStar'Q（スターク）。高齢化社会の日本では「平均寿命」が80歳を超える一方、健康で過ごせる期間を示す「健康寿命」はこれより10年ほど短い。「年齢を重ねても自らの足で歩くことができる健康をサポートしていきたい」と話す青豆裕子社長は、美容と健康の両立に着目した事業をさらに進化させる。

設立は2011年2月。当初は青豆さんの父が代表を務め、水を浄化する環境ビジネスなど、現在とは異なる事業を展開していた。13年に青豆さんが事業を引き継ぐこととなり、美容関連で20年以上働いた自身のキャリアを生かせる美容関連に事業転換した。

社長に就任した青豆さんは新たに、エステ施術の独自手法「深部エナジー」を開発。美容と健康の両立を目指した施術で、専用の電気機器から発する微弱振動により、老廃物を体外へ排出するデトックス効果や腰痛・肩こりなどの体質改善、痩身（そ



うしん）効果が期待できるという。
深部エナジーは直営店「アネラ」

「年齢を重ねても自らの足で歩くことができる健康をサポートしていきたい」と話す青豆社長（手前中央）

での施術のほか、他のエステサロンにも技術を提供。実施店舗は全国20店に拡大した。シングルマザーの青豆さんは、3人の子育てと仕事との両立に苦労した。子どもが熱を出しても帰ることができなかったり、東京への出張中、運動会の弁当を作るためにだけに数時間自宅に戻ったこともあった。その分、子どもと一緒に過ごす時には少ない時間でもたっぶりの愛情を注ぐことを心掛けた。

青豆さんは「子どもには辛い思いをさせてしまった。でも最近、大人になった彼らが感謝の言葉を掛けてくれて、うれしかった」と振り返る。

青豆さんは自身の役割を「50歳を元気にする専門家」と位置付け、美容と健康への情熱を燃やし続ける。深部エナジーの他社への技術提供を推進し、実施店舗を20店から500店に引き上げるのが目標だ。

【プロフィール】あおまめ・ゆうこ
52歳。飛騨市出身。

【企業メモ】本社〓名古屋市東区東桜2の15の4、神谷ビル3C▽電話052・938・4933▽設立2011年▽従業員数〓5人▽売上高〓約6千万円（2016年12月期）▽資本金〓100万円▽18年4月採用計画〓通年